

<燃料タンクの運用下限に関する考え方>

基地名	北九州エル・エヌ・ジー基地
燃 料	L N G
貯蔵設備容量	480,000 kl
発電ユニット	新小倉発電所 3、4、5号
運用下限 <sup>※</sup> の考え方	・ 入船遅延リスクとして、当発電所の1日あたり消費量(最大出力) × 2日分

※ 入船遅延等、必要なリスクへの対応を考慮して運用上確保している数量